

よく考え創り出す子（知） やさしく思いやる子（徳） たくましくがんばる子



向陵だより

【今年度の重点教育目標】
自他のよさに気付き ともによりよく
生きようとする子どもの育成

～向陵っ子全員が 笑顔で登校できる学校づくりのために

令和3年5月31日(月)発行 第2号

旭川市立向陵小学校長 里 村 徹

「分ける」ことが「分かる」こと

読み方が変わると意味が変わってややこしい漢字があります。ある調査では、1位「色紙(いろがみ/しきし)」、2位 国立(くにたち/こくりつ)、3位 上手(かみて/じょうず)、4位 額(がく/ひたい)となっていました。日本語にはこのような熟語が、他にもたくさんあります。それを、文脈によって自然に読み分けたり、使い分けたりしているのです。

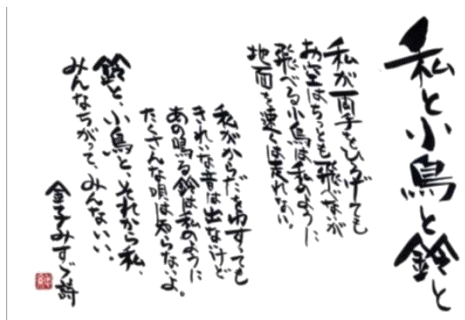
その一つに「分別(ぶんべつ/ぶんべつ)」があります。広辞苑では、「ぶんべつ」を「心が外界を思いはかること。理性と物事の善悪・道理を区別してわきまえること」、「ぶんべつ」を「種類によって分けること。区別をつけること。ゴミの分別収集」と説明しています。世の中の様々な事象を分別(分ける)ことがそれを理解する(分かる)ことなので、もとの意味は共通しているといえます。解剖学者の養老孟子先生は、世の中を細かく切り分けることによって人類は言語を生み出し、それを使って進歩してきたと言っています。分別できること、ちょっとした違いに気付くことが「分かる」ことなのです。



私は、コロナ禍になった頃から神楽岡公園の散策をしています。続けているうちに、はじめは同じに見えていた小鳥や樹木等が見分けられるようになってきました。今では、シジュウカラ、ヒガラ、コガラ等の姿や鳴き声に分かります。コロナ禍でもできることを探す中で、身近な自然に心癒される楽しみとなっています。

「ワンチーム」と「みんな違ってみんないい」の調和

「なぜはじめは起こるのか」ということについては、様々な見解がありますが、その入り口は「みんなと違う」という認識です。本来、「分別」することは人間にとって大切な能力であり、金子みすゞの詩のように「みんな違ってみんないい」はずです。しかし、コロナ禍においては一層世の中が「みんなと違う」ことを恐れ、仲間から外れるかもしれないという大きな不安を生むような風潮に向かっていているように思えます。だからこそ、「ワンチーム」のような「みんな一緒だよ」といった言葉が美しく聞こえます。困難を乗り越えるためには、一丸となって突破することは必要でしょう。しかし、一方で「みんな違ってみんないい」といった多様性の尊重を失ってははいけません。学校では、「一人一人が違うことを認め合い、互いを尊重し合って集まるワンチーム」としての学級を目指していかなければなりません。



できないことを嘆くのではなく、「できることを考えよう」「その中で楽しみを見つけよう」

コロナ禍において日々の感染拡大、制限の多い新しい日常、国や道の感染防止及びワクチン接種対策の混乱、オリンピック開催の可否などの状況により、子どもも大人も大きなストレスを抱えていることは間違いありません。そのストレスを「いじめ」のようなスケープゴート探しに向けるのではなく、私たちは(大人も子どもも)、新しい価値ある日常を創造する方向へ努力していかなければなりません。

ある学級の通信に次のようなことが書かれていました。

制限がある中で、できることは減りました。友達とも身体的な距離をとって、なかなか触れ合うことが難しいです。みんなで輪を作って笑い合いたい中で我慢を強いられています。

それでも、子どもたちは友達同士の距離を意識したり、小まめで丁寧な手洗いをしたりと、自分たちに今できることに取り組んでいます。休み時間の遊びも密にならないようなきまりを考えて、遊び方を工夫しています。できないことを嘆くのではなく、「できることを考えよう」「その中で楽しみを見つけよう」とする子どもたちの姿はとても素晴らしいと思います。

これを読んで明るい希望を見出した気分になりました。

我々教員も子どもたちに負けないように、子どもが安心して登校し、楽しく学びを進めていけるようにストレスをプラスのばねにして教育活動を進めてまいります。

子どもをコロナから守る

想像力と創造力を駆使して

新しい日常を築く向陵小の感染防止対策

北海道への緊急事態措置が6月20日まで延長されることになりました。変異株の拡大によって、若い世代への感染が増える中、子どもたちの命と健康を守るため、今後も粘り強く一層強い感染防止に取り組みながら、その中で可能な教育活動に取り組んでいかなければなりません。子どもたち、そして保護者の皆様には、引き続き様々ご協力をお願いしなければならない状況にあります。

先日も「緊急事態宣言を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症対策に伴う教育活動等について」(5/17付)で当面の学校の取組と見通しについて、「学校保健委員会だより」(5/24付)で学校医の指導を含めた重点的感染防止対策についてお知らせしましたが、保護者の皆様には感染状況に伴い更新される学校からの様々な情報発信にご対応いただき心より感謝申し上げます。

そのうえではありますが、今学校としてお知らせしたいポイントを整理しましたのでご確認ください。

「向陵小学校新型コロナウイルス感染症対策委員会」により組織的に感染防止に取り組みます。



学校の関係セクションや各学年の代表で構成し、以下の目的で組織的・協働的にコロナに対応します。

- 感染対策を講じながら学校における新しい日常を指導し、組織的に児童の学びの保障を実現すること
- 感染が発生した場合の対応に組織的にあたること

「新しい生活様式」の基本的なキーワードの徹底と定着を

改めて以下の基本について向陵っ子の十分な定着を徹底します。

- ・マスクの着用
- ・三密の回避
- ・手洗い、うがい、手指の消毒の徹底
- ・換気の徹底
- ・健康観察
- ・黙食
- ・ハンカチ、ティッシュの携帯
- ・ソーシャル&フィジカルディスタンス
- ・NO! いじめ、差別
- ・大声NG

今、特に気を付けたいこと

- ・マスクの顔にフィットする付け方（秘訣はW）
- ・学年・学級が交わらない活動
- ・登下校や放課後の遊びでも基本は同じ！（特に、マスクの着用、3密の回避、不要不急の外出を避けるなど）

鼻にフィットさせるためWの形を意識して曲げる



今後の見通しは？

緊急事態措置の延長や全道及び旭川の感染状況に応じて、可能な限り子どもたちの学習を保障していくために様々な対応を検討していきます。（4P参照）

【当面の見通し】・運動会～7月に延期 ・修学旅行～9月に延期 ・避難訓練～延期

オンライン学習はできるの？

もしも感染による学級閉鎖等の休業が発生した場合は、子どもたちの自宅での学習を保障するために一人一台端末のiPadを活用してオンラインでの学習を行うための準備を進めています。すでに基礎疾患のある児童及び家族がいる児童等にはZOOMでのオンライン授業配信を行っています。

- ・全学級でiPadを使った授業に慣れるために、授業での活用を進めています。
- ・目の健康に配慮した指導を行っています。
- ・普段は持ち帰りできません。自宅での学習が必要な状況になった場合には、持ち帰るか、学校から配付に何うことになります。
- ・ご家庭でインターネットにつなぐWiFi環境についての調査を行いました。必要な家庭には教育委員会のWiFiルーターを貸し出します。
- ・データ使用量の関係で家庭での全ての学習時間を担任からのオンライン授業で行うことはできません。また、現時点での児童の利活用技能や学年によって使用できるアプリや機能を考慮して学習を行います。
- ・現在、本校のICT推進委員会で検討している具体的授業のイメージは、右のとおりです。

【オンライン学習（高学年）のイメージ】

朝の会	Google Classroom, Google meet (又はZoom) での出席確認・健康観察・諸連絡
朝読書	読んだ感想やあらすじ等をドキュメントに記録
1時間目	eライブラリのドリル
休み時間	目の休養（タブレットは触らない）
2時間目	zoomを使ったオンライン授業
休み時間	目の休養（タブレットは触らない）
3時間目	zoomを使ったオンライン授業
昼休み	
4時間目	Google chrome での課題提示、Web 検索等での調べ学習、Pages かドキュメントを使用してまとめる

お子さんだけでなく、ご家族みんなの健康観察をお願いします！

お子さんはもちろんのこと、同居のご家族に発熱や風邪症状がみられる場合も、出席停止の措置となりますので、症状が消失するまで自宅で休養してください。（対応に迷う場合は学校に相談ください。）

次のような場合は、必ずお知らせください！

■ 子ども本人及び同居家族が

- ①感染した ②濃厚接触者に特定された ③PCR検査や抗原検査を受ける 場合

体育参観日・修学旅行の延期について

■体育参観日

運動会は、子どもたちにとっては、様々な成長の経験となる大切な教育活動であり、保護者の皆様やご家族にとっても、お子様の成長や集団、友達とのかかわりなどを確かめ、子どもと同じ時間を共有できる貴重な場です。今後に向けて現時点では7月の参観日(7~9日)に実施できるよう、感染防止の観点のもとより、熱中症防止にも十分配慮しながら計画を検討中です。詳しい日程やプログラム等については、今後別途お知らせしてまいります。

■修学旅行

9月1日(水)・2日(木)に期日を延期し、計画どおりオホーツク方面で実施する予定です。コロナ禍においても6年生最高の思い出となる修学旅行を実現するために最善を尽くしてまいりますのでご理解をお願いいたします。6年生保護者には、別途お知らせしてまいります。

向陵小学校は、来年度に開校70周年を迎えます！

開校記念日 6月22日(火)

向陵小学校は、昭和27(1957)年に大有小学校分校として起工し、昭和28年6月22日に大有小の356名、北鎮小の24名からなる全8学級・計380名で開校しました。校名は、「陵(高き)に向かって、地に足を着け力強く前進し、努力を惜しまない人間を育てる(向陵精進)」との願いを込め、当時の板東幸太郎旭川市長によって命名されました。来年は、開校70周年を迎えることとなります。

先日、本校の第1回卒業生担任であった大和田俊典先生から当時の写真を寄贈いただきました。先生は、現在92歳、担任した子どもたちは80歳ということでした。

開校記念日を、向陵小の歴史と伝統について伝えるよい機会としながら、伝統を受け継ぐ責任と誇りにについても感じてもらいたいと考えております。

遊具のペンキ塗りをさせていただきました！

4月29日(木)「旭川塗装親睦一親会」の皆様がボランティアで本校の遊具のペンキ塗り作業を行ってくださりました。おかげさまで、色とりどりのきれいで安全な遊具にさせていただきました。

大切にに使わせていただきます。

ありがとうございました。

ありがとう
ございました



分校の校舎前の大有から来た5年生。ここから増築を重ね旧校舎となっていきます。

今の図書室辺り？



6月の行事予定

※緊急事態宣言の6月20日まで延長により、予定は変更になる場合があります。

- 1日(火) 向陵タイム、わかば教室(1年)
- 2日(水) 特別支援教育相談(~11日)
- 3日(木) クラブ②
- 10日(木) 委員会④、諸費納入日
- 14日(月) はだし講習会
- 22日(火) 開校記念日
- 24日(木) クラブ③
- 25日(金) 遠足(1~4年)
- 28日(月) 遠足予備日
- 30日(水) 自転車教室(3年)

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



●電話相談
TEL 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談をご利用ください

センターWebページ



●来所相談

(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)
子ども相談支援センター
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話相談で予約してください。

※センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL: <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

旭川市立向陵小学校



〒070-0865

北海道旭川市住吉5条1丁目1-1

TEL:0166-51-5488 FAX:0166-51-5489

E-Mail kouchou@kouryou.els.asahikawa-hkd.ed.jp

HP <http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/kouryou-els/>

